

# みどりスタイル

エコでピースな、みどりの未来へ ~新しい選択肢「みどりの政治」を一緒につくりませんか？

## みどりの未来

# GREENS JAPAN MIDORI STYLE

Greens Japan News Letter MIDORI STYLE 2009年7月1日発行 vol. 02

年4回発行

## みどりの未来

# KICK OFF!

2009.5.15 ~ 17



5月15日夜、ユース企画『辻信一さんと語ろう。みんなでつながろう！みどりの未来を創るトークライブ&ユース交流会』を開催。辻さんは50名を超える若い参加者に「自分の弱さを認識することのできる【ポストバブル時代】のみなさんこそが、社会をみどりに変えていくことができる、と希望を持っている」と語った。「大満足」「目からウロコ」「今後に関わっていききたい」など参加者から多くの前向きな声が寄せられた。

# 世界にある。 日本にない。 ないならつくろう、日本にも 「緑の党」

昨年11月に発足した「みどりの未来」（共同代表：稲村和美 兵庫県議、井奥まさき 高砂市議）は、5月17日、東京都内で発足記念イベントを開催。関連する15日のユース企画、16日の自治体議員政策情報センター「虹とみどり」企画を合わせ、参加者は200名を超えた。

17日の講演とシンポジウムでは、定常型社会、持続可能な福祉社会に向けて刺激的な議論が行われ、新しい時代のみどりの政治の必要性と可能性を力強く示唆する3日間となった。



### 世界の大転換をリードするみどりの政治運動

ほとんどの政治家たちはいまだに、人類存続の危機を生み出した経済至上主義という心の枠組みの中。でもだいじょーぶ、エコでピースな時代はもう始まっているんです。世界のあちこちで、新しい社会が芽生え、それを支える新しい文化（ハッピースローカルチャー つまり、ハッピーでスローでピースでローカルな文化）が生まれている。それらを結びつけ、ネットワーク化し、起こるべき世界の大転換をリードするみどりの政治運動が待望されています。

辻信一さん | 文化人類学者、環境運動家。明治学院大学国際学部教授。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表。

### What's GREENS JAPAN?

「みどりの未来」は「みどりの政治」をめざします。

みどりの未来は、世界の緑の党が掲げる「みどりの政治理念」（エコロジカルな知恵／社会正義／参加型民主主義／非暴力／持続可能性／多様性の尊重）に基づき、みどりの政党の結成をめざします。全国各地のNGO・NPO・市民団体・市民運動と連携しながら、持続可能な福祉社会を実現します。

REPORT 01

5.17 発足記念イベント  
東京・文京区民センター

# みどりの未来をどう描く 持続可能な福祉社会へ



広井良典さん

## 基調講演 グローバル定常型社会へ

広井良典さん 千葉大学法経学部教授。著書に「持続可能な福祉社会(ちくま新書)」、「グローバル定常型社会」(岩波書店)。

「工」 コロジョーと結びついた社会民主主義の理念と政策を示せるかどうかを試金石にする。北

欧は平等と経済効率性、コミュニティが相乗効果を出している。日本は逆に、不安にかられて働けば働く程、過労と失業、貧困の悪循環になっている。

「定常型社会」は「進歩が止まった退屈な社会」ではなく、産業化社会の成長一辺倒の一元的な価値観から解放され一人一人が好きなことをやっていける社会だ。

分配(平等・公正)をどう考えるか。ヨーロッパでは、「大きな政府(高福祉・高負担)か」「小さな政府(低福祉・低負担)か」の対立軸があった。日本はアメリカと同じで社会保障が小さかったが、家族と会社と公共事業が社会保障を代替してきた。私は「高福祉・高負担」を唱える方向が必要だと思ふ。

もう一つの対立軸は、成長指向か環境・定常指向か。これまでモノ・エネルギー・情報の消費ときたが、これからは時間の消費(ケア、コミュニティ、自然、スピリチュアリティ)。

にシフトする。成長を絶対目標にしない定常型社会では、生産性向上を失業でなく労働時間削減に振り分け、福祉・教育など労働集約的分野、人への投資が重要になる。そしてローカルなコミュニティをどう立て直していくかが問われる。

グローバルレベルではA市場に軸足、B世界市場+再分配(グローバル福祉国家)、C小地域自給(ローカルなコミュニティ)の3つの社会モデルがある。BとCの組み合わせが基本だと思う。食糧・ケア・自然エネルギー・時間の消費はローカルな単位で、工業生産・エネルギーはナショナルな単位で、情報の流通はグローバルに。基本はローカルから出発して、環境と福祉の統合を各レベルで具体的に考えていく。

人間の歴史は狩猟・農耕・工業化と3回の拡大(自然の搾取の度合いが大きくなる)と定常(量から質へのサイクル)を経てきた。離陸から着陸の時代へ、今は時代の変わり目なので、これからのビジョンを描き、対応していく中で持続可能な社会の発展が期待される。

人間の歴史は狩猟・農耕・工業化と3回の拡大(自然の搾取の度合いが大きくなる)と定常(量から質へのサイクル)を経てきた。離陸から着陸の時代へ、今は時代の変わり目なので、これからのビジョンを描き、対応していく中で持続可能な社会の発展が期待される。

人間の歴史は狩猟・農耕・工業化と3回の拡大(自然の搾取の度合いが大きくなる)と定常(量から質へのサイクル)を経てきた。離陸から着陸の時代へ、今は時代の変わり目なので、これからのビジョンを描き、対応していく中で持続可能な社会の発展が期待される。

人間の歴史は狩猟・農耕・工業化と3回の拡大(自然の搾取の度合いが大きくなる)と定常(量から質へのサイクル)を経てきた。離陸から着陸の時代へ、今は時代の変わり目なので、これからのビジョンを描き、対応していく中で持続可能な社会の発展が期待される。

### シンポジウム

#### 脱成長主義の福祉ベーシック・インカム構想

小沢修司さん 京都府立大学公共政策学部長。著書に「福祉社会と社会保障改革ベーシック・インカム構想の新天地」(高岩出版)。

#### 今

の社会保障制度は「経済族の安定」を前提に制度設計されている。夫が稼いで家族を支え(自助)、社会保険に加入してリスクに備え(共助)、保険料を拠出できない人にはセーフティネット(公助)というモデルだったが、労働の安定と夫が家族を支えるモデルが



小沢修司さん



佐久間智子さん



飯田哲也さん

#### 食糧の自立 持続可能な農業への構想

佐久間智子さん 「環境・持続社会」研究センター理事。共著に「儲かればそれでいいのか?」(環境持続社会研究センター)。

#### 食

糧価格の一昨年からの高騰は落ち着いてきているが、長期的には価格は下がらない。投機マネーの影響だけでなく、アメリカのバイオエタノール生産による畜産飼料や農作物の価格高騰、気候変動の影響による干ばつの頻発、原油価格高騰による農業コストの増加、新興国の中間層富裕層の先進国なみの肉消費、などがあるからだ。

最貧国は先進国の富裕層に向けた商品作物の輸出競争にさらされ、乏しい外貨で先進国から主食を輸入し、ますます貧しくなっている。食糧輸入国の日本は、最貧国から主食を奪う関係になっている。農業もベーシック・インカムのようなものがなければ成り立たない。また、都市に住む人々が農業に関わる関係性づくりなど、プラス思考をやってみよう。今後必要ではないか。さらに、国内でもフェアトレードと同じように中間搾取をなくすお金の使い方が重要なポイントだ。

#### 低炭素社会へ エネルギー自立と税制の構想

飯田哲也さん 環境エネルギー政策研究所所長。著書に「北欧のエネルギーデモクラシー」(新評論)。

#### 地

球温暖化と資源争奪問題により、エネルギーを急速かつ全面的に転換しないといけない。それは太陽光や地熱など、今、十分に使われていないエネルギーをストックとして使うという、エネルギー構造を根本的に変えていくことだ。

産業主義で中央管理型の日本のエネルギー政策を、対極の分散化のエコジョー型に変えてはならない。税制改革(環境税)、エネルギー市場改革(独占的な市場の透明化)とともに、目に見える地域で目に見える事業(自然エネルギー)にお金を回し、金融をコントロールしていくこと(通貨のローカル化・グリーン化)が重要。

最終的には「我々はどういう暮らし方・豊かさ感覚を持つのか」というところに戻って見直し、グリーンな知識社会に革新していく、ということが目指す方向ではないか。しかし日本では地球温暖化の中期目標でCO2増加を打ち出すようなレベルにあり、そもそも日本政府をどう機能させるかというのが我々の課題だ。

理念・ビジョン・構想の共有を深めつつ、多様なNGO市民運動との連携を強め、具体的な制度提案力や、それを現実化する政治的力を蓄積していくことが、今後の課題だ。

最後に、国際連帯税、官製アジアのミサイル問題に取り組んでいる方たちから、連携のアピールをいただいた。また、参加者アンケートには多くの声が寄せられた。「大きく、そして細やかに青写真を描く」という意味で、転換のためのネタを提供していただいた「よかったです」(会場の皆さんからざわざわと声があがる雰囲気!)「とても勉強になり、刺激的だった」など、「よかったです」という意見。他方で、「今日の討論をもっと深める必要がある」「現実政治のリアルな状況を突破するイニシアティブの創り方、政策的なインイシュー、方法論までをきちんと詰めて議論していく必要がある」と改めて感じた「明確な政策!これが今後の課題だ」と思うなどの提言も。

#### アピール・感想・課題

最後に、国際連帯税、官製アジアのミサイル問題に取り組んでいる方たちから、連携のアピールをいただいた。また、参加者アンケートには多くの声が寄せられた。「大きく、そして細やかに青写真を描く」という意味で、転換のためのネタを提供していただいた「よかったです」(会場の皆さんからざわざわと声があがる雰囲気!)「とても勉強になり、刺激的だった」など、「よかったです」という意見。他方で、「今日の討論をもっと深める必要がある」「現実政治のリアルな状況を突破するイニシアティブの創り方、政策的なインイシュー、方法論までをきちんと詰めて議論していく必要がある」と改めて感じた「明確な政策!これが今後の課題だ」と思うなどの提言も。



昼食交流会 エコでピースな雑穀食「いるふあ」のケータリングを囲み、各地の情報交換や選挙報告など

#### 5.17 上原公子さん(前国立市長)を囲む討論会 新たな地方の時代? みどりの政治は

自 立した市民を育てることをめざして活動した経験、「法律を破らないギリギリの線の法解釈で対抗した」という市長として国と対峙した体験談が上原公子さんより語られた。国民保護法、住基ネットなどで国と対峙することになった原点は「市民の立場で市民を守る役割を果たすため」という

実践に裏付けられた話には迫力がある。再び地方の時代が来るかどうか、その時の、私たちみどりの未来の役割について議論をした。「地方」に自立した良質な議員と市民を持つ、他の政治勢力にない、みどりの未来の「強み」をどう活かすのかが課題だ。



上原公子さん



## 世代をつなぐ試み “複数化”に成功

静岡市 | 小金井市 | 尼崎市

3月29日投票の静岡市議選、東京都小金井市議選でダブル当選。政令市静岡市選では葵区で、まつや清、駿河区では新人の宮沢けいすけがそれぞれ上位当選。小金井市では、漢人あきこが4期目の当選を、新人の片山かおるは7位と大健闘。まつや、漢人はすでにベテラン、「みどりの未来」でも積極的な役割を果たし、地域においても「虹と緑」しずおか「市民自治」がねいと

注目6月7日兵庫県尼崎市議選でも「みどりの未来」の会員である現職の酒井一、新人のたかはま黄太、田中しゅんじがそろって当選。兵庫県議村和美、丸尾牧と連携しながら、「市民派」の二歩先、新たな社会ビジョンを発信するローカルパーティーを展望しての3人挑戦だった。

「複数化」は市民派にとって大きな壁。3つの市議選の連続した勝利は2年後の統一地方選における各地での「複数化」の可能性を構想するうえで、ヒントを与えてくれた。

会員・サポーターの選挙情報	7/3-12	東京都議選	福士敬子さん (現職)
	7/19-26	埼玉県三郷市議選	村上香代子さん (現職)
	8/30-9/6	埼玉県八潮市議選	矢澤江美子さん (現職)

### 国際連帯税の背景

現在、「2015年までに貧困を半減する」などのターゲットを掲げた国連ミレニアム開発目標の達成が危ぶまれ、国連気候変動枠組条約締結国会議において、先進国と途上国の亀裂が懸念されている。こ

## KEYWORD みどりのキーワード 「国際連帯税」

れらに共通する要因は「必要な資金の不足」である。また、サブプライムローンに端を発する世界金融危機は、非常に深刻なものとなっている。これは実体経済の4倍近くにも肥大化したグローバル金融、とりわけ投機マネーによるギャンブル経済の帰結であり、投機マネーをいかにコントロールし、グローバル金融市場を安定化させるかが喫緊の課題となっている。

これら貧困問題や温暖化対策に必要な資金を創出し、グローバル金融市場を安定させる有力な処方箋として、国際連帯税が注目を集めている。これは、「グローバルなモノや活動にグローバルに課税をし、グローバルな活動の負の影響を抑制しつつ、税収を上げ、これをグローバル公共財の供給のためにグローバルに再分配する税の仕組み」であるグローバル・タックスの二形態である。

### 日本の動向

日本においても、2008年2月に「国際連帯税創設を求める議員連盟」が設立され、同年9月に日本がリーダーシップをとり、正式加盟するグ・グループへ正式加盟する原動力となった。また、福田ビジョンならびに7月に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」においても、「地球環境税のあり方を研究する」という文言が盛り込まれた。これらを受けて、環境省が主管官庁となって「地球環境税等研究会」が設置され、2009年3月末に報告書が出されている。

このような国会、政府の動きよりも先に国際連帯税に取

り組んでいたのが市民社会であったが、その動きを本格化させるために本年4月4日に「国際連帯税を推進する市民の会(アシスト)」が創設された。

そして、4月20日には、国会議員、市民社会、専門家、政府関係者で構成されるマルチ・ステイクホルダーの委員会として、多摩大学学長であり、(株)日本総合研究所会長の寺島実郎氏を座長に迎え、「国際連帯税推進協議会(通称「寺島委員会」)が創設されるに至った。寺島委員会は、日本発国際連帯税、とりわけ通貨取引税を実現させることを目的とした委員会である。今後これらの活動が大きく展開し、国会、政府、市民社会、専門家が協働して、日本発国際連帯税が実現することが期待されている。

上村雄彦 横浜国立大学国際観光学部

## REPORT 02

### 自治体議員政策情報センター「虹とみどり」

# 5.16

東京・代々木八幡区民会館

## 議会のしごと

自治体議員を中心に70人近くが参加。議会のありべき姿を求め、議会改革と市民自治をめぐる熱心な議論が行われた。



### 基調講演1 議会改革と議会基本条例

廣瀬克哉さん 法政大学教授、自治体議会改革フォーラム代表

議会基本条例は54議会で制定されている。基本計画まで議決事項にしたり、議会自身が報告会をしている北海道栗山町議会のような先進事例、他方で基本条例をつくること自身を目的にしたかのような事例も生まれている。合議体である議会には、決定することだけでなく自由な討議を通して論点を発見し住民に示す、討論の広場としての役割がある。市民の意見を聞きながら市民と一緒についていく関係、首長との関係、そして合意形成ができる議会内関係をつくりながら策定を進めれば、飾り物ではない条例をつくることができる。(参考「議会改革白書(2009年版)」)

### 基調講演2 二元代表制と直接民主主義

福嶋浩彦さん 前我孫子市長

地方自治は国政と違い、「二元代表制」である。二元代表制とは、選挙で選んだ首長と議会として住民の直接参加という二つの力で運営していくこととなる。

議会は「チェック機能」ではなく「意思決定機関」であり、議員同士の議論が徹底して行われなければならない。議会の市民参加や、決定の市民への報告が必要だ。最近の議会基本条例では、市民参加などは取り入れず、首長に対する議会の権限強化しかない例が多い。市民の議会への権限強化が必要であり、なにより市民参加で条例をつくるのが求められている。

### 事例報告

- 高砂市の議会改革
- 常設型住民投票制度と市民参加(小金井市)
- 開かれた議会をめざす会の活動
- 議会基本条例制定における市民参加(所沢市)

### 自治体議員政策情報センター 虹とみどり

みどりの未来と連携し、自治を中心に据え、環境・平和・社会的公正を重視した、持続可能な社会を作り出すための政策情報センターをめざして情報交換や研究集会を開催。

センター長：福嶋浩彦元我孫子市長  
幹事：富野輝一郎元逗子市長、上原公子元国立市長、広井良典千葉大教授、他

## ACTION

### 傷だらけの柏崎刈羽原発 ボロボロの再稼働一運転の即時停止を!

### 新潟

一昨年7月、柏崎刈羽原発は想定をはるかに超える規模の地震に見舞われ、運転を停止した。そして今年5月11日、多くの批判や反対の声にもかかわらず、同原発7号機の試験運転が開始。しかし、東京電力が自ら過小評価を認めた断層の規模、他の断層の存在、再循環ポンプモーターケーシングの耐震安全性など、重大な問題は残されたままとなっている。

地震の影響は装置や機器の細部に潜んでおり、起動試験直後から給水弁の動作不良、警報の誤作動、原因不明の放射能漏れなど、トラブルが続出。また、これまでも建屋内で何度も火災を起こすなど、東電の安全管理能力も信用できない。私たちも仲間たちとともに、運転の停止を求めて日々活動している。今後も御支援を!(中山均/緑・にいがた)

### 環境破壊と国威発揚のオリンピックにNO!

### 東京

3月、「東京にオリンピックはいらないネット」(代表/福士敬子都議)と「みどり三多摩」は東京オリンピック開催の電話アンケートを実施。賛成はわずか25%だった。都は昨年、今年と各自治体に1000万円をばらまき盛り上げに躍起になっている。IOCの判断材料になるから

だ。都の示す賛成70%は、モニター回答者のみが対象で無関心層が反映されていない偽装データだ。4月、現地調査に來日したIOC評価委員には私たちの調査結果も提出した。開催都市の決定は、いよいよ今年10月だ。詳しくは→いらぬネットHPを参照。(橋本久雄/みどり三多摩)

### メイド・ザ・ルール キャンペーン

5/31あいにくの雨にもかかわらず、10名以上がメイド姿で参加。MAKE the RULEをアピールした。メディア取材もあり存在感バッチリ!(酒村菜緒/東京)

\*みどりの未来は気候保護法制定をめざすMAKE the RULEキャンペーンに賛同しています。

OPINION 01

# 政権交代 その一歩先の社会へ

## 総選挙の指針と見解

### 政権交代を支持し 歓迎する

私たちは、目前に迫る総選挙に、残念ながら「みどりの未来」の候補者を擁立して挑戦することができません。しかし政権交代の実現を支持し歓迎する立場を表明し、比例区では野党に、そして選挙区では地域の事情や個々の候補者の政策（温暖化、雇用、税制、9条など）に応じて野党候補への協力・投票を呼びかけます。私たちが政権交代を支持し歓迎する理由はシンプルです。政権交代の可能性のない政治はチエック機能を失い、必ず腐敗します。また、政権交代の実現は有権者の政治不信とあきらめを取り払う大きなきっかけとなると考えるからです。

### 持続不可能な自公の政策

自公政権の総選挙政策は、ひとことでは「選挙目当ての一次的なバラマキ」、借金だけを増やした90年代末の公共事業拡大の繰り返しです。しかも、金融自由化による

投資立国路線の破綻、輸出主導の経済成長の危うさの露呈、非正規・不安定雇用推進によるワーキングプアの拡大、介護・医療・教育・保育などの社会保障の劣化、そしてCO<sub>2</sub>の90年比6%以上の増加、これら市場重視の成長戦略の結末をしっかりと反省したうえで政策ではありません。ほころびとツケを将来世代に先送りしたものに他ならないでしょう。

### 民主党政案も不十分

しかし民主党の政策も中途半端です。派遣労働の問題については原則禁止にまで踏み込まず、雇用のセーフティネットづくりも極めて不十分です。CO<sub>2</sub>の2020年までの中期削減目標は90年比で25%削減ですが、パリ合意の「先進国で25〜40%の目標」からすれば非常に甘く、法的拘束力ある目標でもありません。税財政政策も、公正な税制改革に踏み込まず、「政府埋蔵金」の使用など一時的な措置で、自

### 持続可能な未来へ

私たち「みどりの未来」は、将来世代に問題を先送りしないためには、発想の抜本的な転換が必要だと考えます。経済成長至上主義のまま温暖化問題を解決できず、うか。経済成長の回復がなければ、雇用の安定、財政問題の解決、豊かさや支えあいの社会は築けないのでしょうか。そうではない、と私たちは確信します。

キーワードは、環境・社会保障・財政における「持続可能性」です。そして経済成長に依存しない「定常型社会」です。政権交代、その一歩先の社会へ向けたビジョンと具体的な制度的構想を、みなさんとともにじっくり出していく作業が急がれます。

みどりの未来運営委員会



### 6/4~7 欧州議会選挙 (736議席、任期5年)

緑の党は、11議席増の46議席と大躍進。フランスの16%15議席、ギリシアの初議席の他、ベルギー、ドイツ、スウェーデン、デンマーク、フィンランドで議席を増やした。

\* 欧州緑の党グリーン・ニューディールマニフェスト要約をHPに掲載

### 4/25 アイスランド

「左派・緑の党」が5議席増の14議席と躍進。アイスランドは世界金融危機による経済破綻で政権崩壊。左派系政党が初めて過半数を占めた。

### 3/25 チェコ

緑の党(連立与党、グローバルグリーンズ未登録)の2議員の軍拡路線への反対により米国ミサイル防衛計画が頓挫し、連立政権崩壊。

### グローバル・グリーンズ

みどりの未来・渡辺さと子香川県議が調整委員会国際電話会議に参加。事務局立ち上げ、メキシコ緑の死刑制度賛成表明への対応、COP15での共同行動、チュニジアの2つの緑の党との関係整理などを議論。

みどりの未来はグローバルグリーンズ(緑の党の国際ネットワーク)に正式登録しています。

最新情報は▶HP参照 <http://www.greens.gr.jp/>

## MYECOSPOT

知る、感じる、つながる  
多目的カフェ「かぜのね」

京都・出町柳駅前



京都の北のターミナル、出町柳駅に程近い路地の奥にあるのが「かぜのね」。京大や同志社の学生や、通勤客が行きかう駅前の喧騒を少し離れると、そこには、なんとも居心地のいい空間が。2人、3人・・・と、想いを持つ人が自然に集まり、アパートだった建物に手を入れ、カフェと多目的スペース、シェアオフィスに仕上げました。かぜのねの仲間達の想いは、構えない心と体で、政治や社会、地域のことを語り合える場を育むこと。その中から、新しい動きがそよぐ風のように生まれ出ること。かぜのねの空間と活動には、そのためのさりげない工夫がいくつも込められています。ふだん遣いのカフェとして、心と体に優しい飲食を楽しむもよし、アートから政治まで、さまざまなイベントに参加するもよし。ぜひ、あなたらしいスタイルで、かぜのねを体感してみてください。(加藤良太/京都)



かぜのね ▶ 〒606-8204 京都市左京区田中下柳町7-2  
TEL/FAX 075-721-4522  
<http://www.kazenone.org>  
営業時間 12:00 - 22:00 L/O 不定休(詳しくはウェブで)

## INFORMATION

### みどりの未来 ~公開“大”討論会~ in岡山

総選挙、各政党のマニフェストを評価する—みどりの未来の対案は?

▶日時:8/23(日)13:30~16:00 ▶会場:岡山市勤労福祉センター、JR岡山駅から徒歩20分、バス停(市役所前、大学病院前、大学病院筋)から徒歩5分

### 関連企画

自治体議員政策情報センター「虹とみどり」全国政策研究会

「世界経済危機の中で自治体は何をするのか」

▶会場:岡山市勤労福祉センター ▶日時:8/22(土)13:30~18:00  
【首長による報告と討論】福嶋浩彦元我孫子市長(コーディネーター)、上原公子前国立市長、松本武洋和光市長、他 【分科会】協働・公共、ワークライバルンス、グリーン・ニューディール 【懇親会】▶日時:8/23(日)9:30~12:00 【分科会とまとめ】環瀬戸内会議、平和自治体・基地問題、新型インフルエンザ \*オプション企画:鞆の浦ツアー8/21(金)  
詳しくは→<http://www.greens.gr.jp/jouhou/>

### もぎのぞ

萌黄之座2009 <みどりのユースもここに集合!>

「食・農・生業づくり」をテーマに、未来の政治や社会を大胆に考える、分野や立場を越えた若手交流の場

▶日時:8/8(土)~9(日) ▶会場:京都市内 ▶フォーラム:松平尚也(農民×アクティビスト)、イダヒロユキ(スピ・シン系研究者)、小沢福子(大阪府議) ▶主催:萌黄企画 moegi\_kikaku@mac.com(加藤)

<http://ameblo.jp/moegi2005/>

OPINION 02

# 新型インフルエンザ考 恐怖心を煽る「安全・安心」対策ではなく、 「信頼」にもとづく柔軟な社会対応を

5/23 みどりの未来論説チームによる見解と提言:抜粋と要旨

## 新

型インフルエンザのウイルスは弱毒性であることが確認され、季節性インフルエンザと同様の対策にポイントを置くべき局面になっていきます。しかし、防護服を

つけて連日行なわれたものものしい検査の光景は、国民の中に恐怖心を煽り、植えつけました。「水際対策」や「封じ込め」策の効果は薄いとされているにもかかわらず、人員を含む多くの医療資源が投入され、医療や地域保健の現場では通常業務に支障を来す事態となっています。政府も、自治体も、教育機関も、対応漏れや不備を指摘されて責任を追究されることを恐れ、対応策を強化し、それを見て住民はさらに不安感情を強くし、行政に完全な「安全・安心」の履行を求める、という悪循環が強まっています。

行政や報道機関の過熱した対応は、「安心・安全」を建前にした過剰な「社会防衛」的な論理と一体化し、感染者を「感染源」として扱い、職場や学校、地域社会から孤立させる結果を招いています。また、雇用、福祉、子育ての現場は混乱し、地域の機能は低下して人々の暮らしを直撃し、特に、不安定な状況に置かれて非正規の人々や、ひとり親世帯などでは一層深刻さが増しています。もちろん、ウイルスは今後強毒性に変化する可能性は充分にあります。しかし私たちは、このようなウイルスを100%完全に押さえ込む「完璧な安全・安心」を実現することはそもそも不可能なのだということを認識しなければなりません。そして同時に、適度で基本的な衛生意識や習慣、人間が本来持っている免疫力、発症しても休息と充分な栄養を取ることで、そのことを保障できる働き方や社会を再構築することで、このような感染症を「撲滅ではなく」コントロールすることが基本的に可能なのだという原則に立ち帰るべきです。「安全安心」への扇動された脅迫感の増幅ではなく、人々や地域の信頼に基づく柔軟な社会が私たちに求められています。

「新型インフルエンザのもうひとつの側面」も含む全文、および「北朝鮮核実験」「裁判員制度」「地球温暖化対策中期目標」などについての声明・見解は ▶HP参照 <http://www.greens.gr.jp/>

### みどりの未来事務局

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2丁目3-4 高円寺ビル404  
Tel&Fax 03-3338-8587 E-Mail [greens@greens.gr.jp](mailto:greens@greens.gr.jp)

郵便口座 ゆうちょ銀行 当座預金(店番号019) 口座番号: 262967 加入者名: みどりの未来

### 会員・サポーター募集中!

みどりの未来は、「みどりの政治」をつくる仲間を募っています。ご関心のある方は、事務局までお問い合わせください。

<http://www.greens.gr.jp/>

みどりの未来

検索

